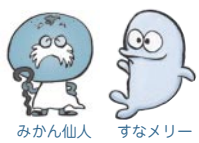


みんな考えてまい!

蒲郡のまちづくり

～都市計画マスタープラン～



みかん仙人 すなメリー

意見募集をしてたよね。結果を教えてよ。



都市計画マスタープラン(都市マス)にみんなの意見が反映されるよう、去年の11月にやったパブリックコメントのことじゃな。素案を見た7人の市民から意見が寄せられたんじゃ。

ふーん、意外に少なかつたんだね。



ほうじゃな、意見の募集をやるぞんちゅうお知らせはいろいろとやったんじゃが…。すなメリーの言うとおり、素案は役所の窓口かパソコンでしか見れなかったもんで、誰でももつと安気に見れ

るようにせんといかん。出された意見はどうなつたの？



主なもんは何べんも話し合ったことなんじゃが、将来の目標人口を8万人よりもつとようけにしたほうがいいとか、観光蒲郡に合った道路を造つたらとか、景観を損ねるとる看板を規制したらちゅう意見なんじゃ。もらった意見は、都市マスの策定委員会に報告されて検討されたんじゃ。その中には、

都市マスに反映された意見もあるんじゃよ。意見の概要と役所の考え方を市のホームページで公表するで、ほれを見とくれるかのん。

今までは、みんなの意見が十分に反映されなかった計画が多かつたもんで、実現できなかったもんもあるんじゃ。これからは、計画の時からみんなが参加して、自分たちの計画としてまちづくりをやっていかんとあかんのじゃ。計画開発課 ☎66・1142



学芸員 小林龍二

「深海魚の季節」

あけましておめでとございませう。寒い日が続きますが、お元気でしょか。

暖房のない水槽の裏側で、常に水に悶わっている我々にとって、冬はとてつもない季節です。私は冷たいのが嫌な

ので、なるべく水槽に手を入れないようにしています。

さて、飼育の世界は広いもので、こんな季節が来るのを毎年首を長くして待っている飼育員がいます。それは「深海魚担当」の飼育員です。

深海はとてつもない水深が低く、採れた深海魚を活かして水族

館に運ぶには、冷たい水が必要になります。そのため、気温が低い今の時期が最適です。深海魚担当者は、寒くなつて、元気の深海魚が水族館に運ばれてくるのが嬉しくてたまらないのです。

現在の日本の水族館では、巨大サメや貴重な熱帯魚など、世界中の生き物を見ることでできます。そんな中でも、深海はあまり知られていない世界で、最も未知の生き物がいるホットな場所として水族

館界では注目されています。

嬉しそうに精を出している深海魚担当者を、私は昨年までは寒さで背中を丸めながら他人事のように見つめていたのですが、親友が深海の漁師をやっていることもあって、とうとう今期、担当者になり、「寒さの嬉しさ」がわかる人になりました。真冬の深夜2時に帰港した親友から「たくさん取れた！来て！」という連絡があると、心躍らせて形原漁港へと向かうのです。